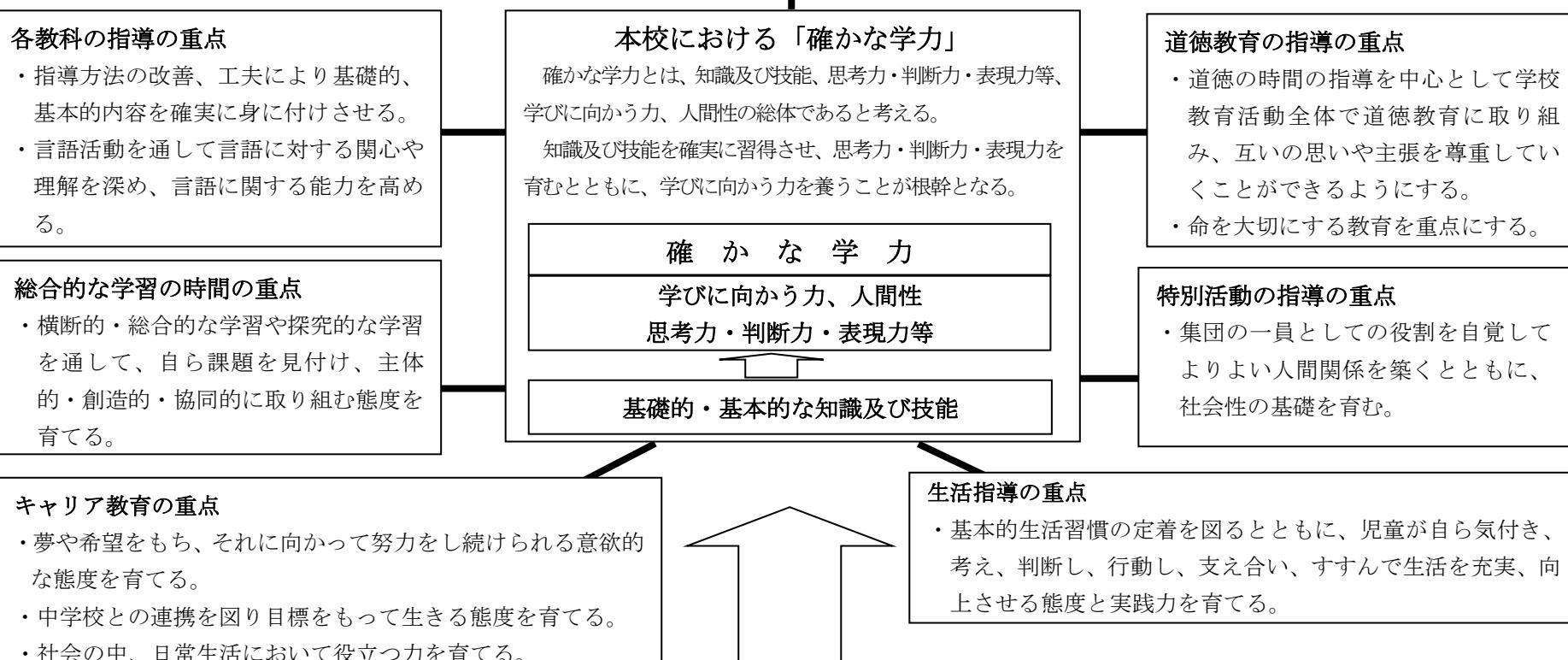


令和6年度 学力向上を図るための全体計画

<p>【都の教育目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間 ・社会の一員として、社会に貢献しようとする人間 ・自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間 <p>【区の教育分野目標】</p> <p>夢や目標を持ち困難を乗り越える力を備えた子どもたちの育成</p> <p>取組の視点1 教育の質の向上 取組の視点2 家庭や地域と連携した教育の推進 取組の視点3 支援が必要な子どもたちへの取組の充実</p>	<p>《学校の教育目標》</p> <p>本校の教育は、日本国憲法・教育基本法・児童の権利に関する条約の理念と人権尊重の精神を基調に、これから社会に主体的に対応し、国際的視野に立ってすすんで協調することのできる、心身ともに健康で人間性豊かな児童の育成を目指す。このことを具現化するために、次の目標を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ たのしく学ぶ子 ○ はつらつと活動する子 ○ ともに歩む子 	<p>【学校や地域の実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた学校生活 ・学校と協力する地域 <p>【保護者の願い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力の向上 ・子供が楽しく安心して通える学校 <p>【地域の願い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校への高い期待や関心 ・地域に開かれた学校の推進 <p>【教師の願い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生命尊重 人権尊重 ・基礎基本の学力の充実 ・個性、能力の伸長
--	--	--

[学校経営計画（学力向上にかかる要点）]

中期経営目標	○基礎・基本を大切にし、主体的・対話的で深い学びが実現できる授業を行い、思考力・判断力・表現力を身に付けた児童を育成する。
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的な刺激を抑制する等のユニバーサルデザインの視点に立った教室環境、ICT機器を効果的に活用できるレイアウトを工夫し、どの児童も授業に集中できるようにする。 ・単元を貫く目標を児童に意識させ、一単位時間の流れを視覚化するなど、児童が常にアクティブで見通しをもてるような授業を行い、基礎的な知識・技能をすべての児童が身に付けられるようにする。



本校の改善策		
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決、体験活動を取り入れた学習の重視 ・課題解決、習熟度別学習を取り入れたチーム・ティーチング、少人数指導の推進 ・自力解決学習と学習感想の重視 ・各教科における言語活動の重視 ・東京ベーシック・ドリルの活用 ・I C T機器の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部人材等の積極的活用 ・朝読書、教員による読み聞かせ、図書館員によるブックトーク等の読書活動の実践 ・週に一度、朝15分間の自主学習の実践 ・学期1回の学校生活アンケートの実施 ・児童・保護者アンケート、学校関係者評価を生かした教育課程の編入 	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回の授業研究を通しての授業力の向上 ・キャリアプラン等に基づく自主的・自発的研修の活性化 ・教材研究の重視 ・校内OJTの実施 ・教員同士の授業公開の実施 ・教職員全体の服務研修
評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	小中一貫教育の取組
<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人のよさを見付け、よさを伸ばすことでの他の力を伸ばす評価計画、評価規準、評価基準の作成等による指導と評価の一体化 ・自己評価、相互評価の活用 ・積極的な教職員同士の情報交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の確立（朝食・睡眠等） ・「早寝・早起き・朝ごはん」の運動の推進 ・家庭学習や宿題等の工夫 ・地域の教育力の活用（地域未来塾） 	<ul style="list-style-type: none"> ・4つの研究部会での小中一貫教育の研究実践 ・課題改善カリキュラムの作成 ・校区別協議会での協議内容を授業改善に活用 ・校内での挨拶運動

授業改善策の検証方法

○東京都や国による学力調査の結果と授業改善推進プランとのP D C Aサイクルによる検証	○東京ベーシック・ドリルによる検証
○小中一貫教育グループによる課題改善カリキュラムと校区別協議会でのP D C Aサイクルによる検証	○学校評価による検証